

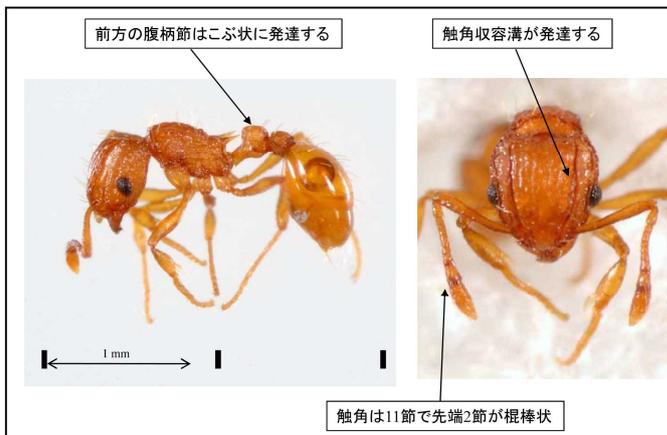
特定外来生物 コカミアリについて

1. 生態について

- 原産地と分布： 中南米原産。中米からフロリダ以南、アフリカ、ガラパゴス、ニューカレドニアなど太平洋諸島に侵入。2021年に台湾に定着、2022年に中国広東省で発見事例が知られている。
- 日本での定着状況： 国内未定着。
- 近縁種、類似種について： 国内には同属の近縁種は生息しない。
- 被害をもたらす要因： 多女王性であるため、1コロニー当たりの産卵量も多く、物資に伴う分散にも女王が伴うことが多いため、コロニーの増殖や分布拡大の能力が高い。女王アリが、交尾を行わずに産卵できる（単為生殖）。

2. 被害の実態・被害のおそれ

- 生態系に係る被害
 - 捕食による直接的な影響で、在来の無脊椎動物に深刻な影響を及ぼす。
 - 在来のアリ類を駆逐する例がある。
 - ニューカレドニアでは、爬虫類の個体群を減少させている例がある。
- 人の生命・身体に係る被害
 - 刺されると激しい痛みを感じる。
- 農林水産業に係る被害
 - 侵入地で、農作業等に大きな被害を与えている地域がある。



コカミアリの働きアリ(特定外来生物同定マニュアル抜粋)

https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/6hp_konchurui.pdf



コカミアリの女王アリ (写真提供:坂本 洋典)